

あなたの願い叶え隊

- 第19回 -

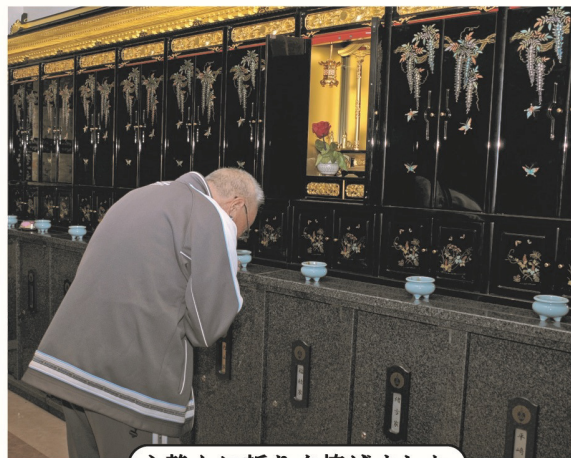
様
88歳

様は、居室内で一番目に着く場所に奥様の写真を置いて生活しています。時が経つのは早いもので、様の奥様が亡くなってから一年が経ちました。私たちは様の心の傷を癒すべく、お墓参りの外出にお誘いしました。

お寺に到着すると、早速奥様の眠る場所へ向かいました。納骨壇の前に進み、まるで時間が止まったかのように長い時間、手を合わせる様。この沈黙の時間は、奥様との絆が生き続けていることを物語っているようでした。奥様の微笑みや声が蘇り、心に響いたのか、手を合わせた後には涙を浮かべておられました。

お参りの後はベンチに座り、少しお話をしました。納骨壇の番号を奥様と一緒に決めた事、二人で色々な場所へ行った思い出など、かみしめるように話してくださいました。境内に広がる静寂が、その感情を一層深めたように感じました。様はつばさへ戻る帰り道、車窓からの景色を静かに眺めておられました。

今回のお墓参りに対し、「今日は思いもかけずお墓参りに連れて行ってもらえ本当に感謝しています。いつも妻が見守ってくれているような感じです。これからも前向きに生きていこうと思います」と話してくださいました。



心静かに祈りを捧げました



お寺を案内してくださる様



夏祭りの雰囲気を満喫

8月12日、様は豊野町ふれあい祭りに出掛けました。会場に入ると、多くの人たちと賑わいが広がっていました。「夏祭りいいですね。浴衣も綺麗だし、夏の雰囲気を楽しめます」と様。祭り会場の鮮やかな光と音楽、来場者の笑顔にも囲まれ、幸せそうな表情を見せていました。私たちは会場内を少し回り、ステージを見て過ごしました。



風がありましたが綺麗な花火でした

花火の予定時刻が迫り、打ち上げ場所近くにスタンバイ。しばらく待っていると、夜空に花火が華やかに咲きました。最前列で見上げる花火は破裂音を体全体で感じる事ができて迫力満点。花火が打ちあがるたび歓声を上げ、拍手をしながら見ていました。この時の笑顔は日常生活では見たことがなく、私たちにも温かな感動を届けてくれました。花火会場から戻る道中、「自宅にいたころは八代の花火も見えてました。いつぶりの花火だろう…」と話しておられました。

私たちには色々な夢や願いがあります。これと同じように人生の舞台で歳月を重ねた方々にも、昔抱いた夢や、未だ果たせぬ想いなどがきっとあるはずです。「老人ホームに入居したら好きなことはもう何もできない…」そう思ってほしくありません。夢を諦めることなく、希望を胸に抱くということは、人生に輝きを与えたいと思います。

これからも私たちは、その願いを叶えることができるように、出来る限りお手伝いさせていただきます。次の誕生日が楽しみになる事を願って…



美しい花火を楽しむ様

「人生はもっと輝ける」をスローガンに、職員全員で入居者様の笑顔を増やすべく取り組んでいます。つばさは、まだまだ勉強する面もたくさんありますが、今できることから一步步進めています。現在1部屋の空きがあります。お気軽にお問い合わせください。